

東京都人権プラザ企画展 名越啓介写真展

名越啓介写真展

Humanilia

保見団地



2018年4月25日(水) — 7月21日(土) 9:30 - 17:30 入場無料

会場：東京都人権プラザ 1階 企画展示室

主催：東京都人権プラザ (指定管理者・公益財団法人東京都人権啓発センター)

ブラジル人約3000人。  
1990年入管法改正以降、多国籍な移民労働者を呑み込んだ、愛知県豊田市「保見団地」に3年間の「住み込み」で出会った喜怒哀楽——記念。

ドキュメンタリー

東京都人権プラザ企画展

名越啓介写真展



2018年4月25日(水) - 7月21日(土)  
Familia  
保見団地  
月並みこの黄金

愛知県豊田市にある「保見団地」は、住民の半数近くが日系ブラジル人であるなど、外国にルーツを持つ人々が暮らす多国籍な公営団地です。本展では、この「保見団地」において、写真家・名越啓介氏が住民と生活を共にし、3年間にわたりその日常を撮影した作品を展示します。本展を通して、多様な人々が共に生きる際に生じる葛藤や困難さ、そしてそれらを乗り越えるためのヒントなどを感じていただき、どうしたら「ダイバーシティ」が実現した社会となるのか、皆様とともに考えてみたいと思います。

ブラジル人約3000人。「これからの自由」の萌芽ではなく、「失われゆく自由」の一瞬だった。



名越啓介 (なごし・けいすけ)  
1977年奈良県生まれ。大阪芸術大学卒。過去にリリースした写真集に、「EXCUSE ME」(TOKIMEKI パブリッシング)、「CHICANO」(東京キララ社)、「THE BLOOD OF REBIRTH」(USEN)、「SMOKEY MOUNTAIN」(赤々舎)、「笑う、避難所」(集英社新書)、「BLUE FIRE」(少年写真クラブ)、「Sing Your Own Story 山口富士夫写真集」(ロフトブックス)、「Familia 保見団地」(Vice Media Japan) などがある。

トークセッション  
名越啓介×崎山敏也(TBSラジオ放送記者)  
5月26日(土)14:00~16:00  
スライドトーク  
名越啓介×川田洋平(編集者)  
6月16日(土)14:00~16:00  
場所:東京都人権プラザセミナールーム  
申込不要/無料/定員80名(先着順)  
情報保障あり(要問合せ)/託児保育(要事前申込)



東京都人権プラザ 1階 企画展示室

所在地: 〒105-0014 東京都港区芝2-5-6 芝256 スクエアビル 1階  
開館時間: 9時30分~17時30分  
休館日: 日曜日  
お問い合わせ: 東京都人権プラザ Tel: 03-6722-0123 Fax: 03-6722-0084  
E-mail: tenji@tokyo-jinken.or.jp URL: www.tokyo-hrp.jp  
【交通案内】  
●都営三田線「芝公園駅」A1出口徒歩3分  
※車いす・ベビーカー等ご使用の方はA3出口エレベーターをご利用ください。  
●都営浅草線・大江戸線「大門駅」A3出口徒歩7分  
●JR・東京モノレール「浜松町駅」金杉橋口徒歩8分  
主催: 東京都人権プラザ (指定管理者: 公益財団法人東京都人権啓発センター)

東京都人権プラザ企画展

# ミリキタニの猫

路上の画家がのこした世界

## ジミー・ツトム・ミリキタニ展

2018年 8月25日(土)～11月17日(土) 9:30～17:30・日曜休館

会場:東京都人権プラザ 1階 企画展示室

入場無料

主催:東京都人権プラザ (指定管理者:公益財団法人東京都人権啓発センター)

かわいくて、  
ちよつとやうに絵。

### 【上映会】

「ミリキタニの猫《特別編》」

8月25日(土) 14:00～16:00

トーク:マサ・ヨシカワ(映画プロデューサー)

### 【上映とトーク】

9月22日(土) 14:00～17:00

トーク | 星野智幸(作家)  
入江杏(ミシュカの森主宰)

東京都人権プラザ セミナールーム

# ミリキタニの猫

路上の画家がのこした世界

## ジミー・ツトム・ミリキタニ展

日系2世としてアメリカに生まれ、広島で育ち、戦時中はツールレイクの日系人強制収容所で暮らしたジミー・ツトム・ミリキタニは、1980年代の後半からニューヨークの路上で絵を描きながら暮らしていました。彼が路上で何を感じ、何を思いながら絵を描いていたのか。ドキュメンタリー映画「ミリキタニの猫」では、過去と向き合いながらアイデンティティを回復していく一人の魅力的な人物として描かれていました。

今回の企画展では、そのジミー・ミリキタニが晩年に描いた作品およそ40点を、彼の「人生」の記録や、彼に関わった人たちの証言とともに展示します。米国市民権の放棄から、テロリズムを背景にした「不寛容」な時代の到来までの間に、猫をはじめとする限定的なモチーフを繰り返し描き続けた意味とは何か、来場された方々とともに考えてみたいと思います。



©Tetsuro Sato



©Jimmy Tsutomu Mirikitani

### 【関連企画】

- ・上映会
  - ① 8月4日(土)14時00分～16時00分  
映画「ミリキタニの猫《特別篇》」(2本組・計95分)
  - ② 8月25日(土)14時00分～16時00分  
映画「ミリキタニの猫《特別篇》」(2本組・計95分)  
トーク：マサ・ヨシカワ(映画プロデューサー)
- ・上映&トーク 9月22日(土)14時00分～17時00分  
映画「ミリキタニの猫《特別篇》」(2本組・計95分)  
トーク：星野智幸(作家)  
入江杏(作家・ミシュカの森主宰)

会場：東京都人権プラザ セミナールーム  
定員：80名(事前申込不要、当日先着順)  
情報保障(要問合せ)、託児保育(要事前申込)

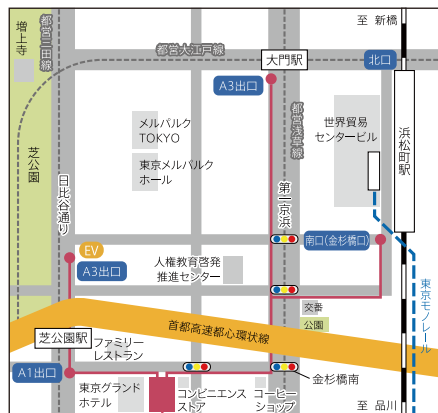


Photo by Hiroko Masuike



### 「ミリキタニの猫《特別篇》」

「ミリキタニの猫」(2006年/74分/監督:リング・ハッテンドーフ)と  
新作短編「ミリキタニの記憶」(2016年/21分/監督:Masa)の二本立て。  
マサ・ヨシカワ氏は前作で製作/撮影、新作短編の監督を務める。



東京都人権プラザ (指定管理者:(公財)東京都人権啓発センター)

### 東京都人権プラザ 1階 企画展示室

住所：〒105-0014 東京都港区芝2-5-6 芝256スクエアビル1階

開館時間：9時30分～17時30分

休館日：日曜日

■お問い合わせ Tel：03-6722-0123 Fax：03-6722-0084

E-Mail：tenji@tokyo-jinken.or.jp URL：www.tokyo-hrp.jp

### 【交通案内】

- 都営三田線「芝公園」駅 A1出口から徒歩3分  
※車いす、ベビーカー等ご使用の方は、A3出口エレベータをご利用ください。
- 都営浅草線・都営大江戸線「大門」駅 A3出口から徒歩7分
- JR線・東京モノレール「浜松町」駅金杉橋口から徒歩8分

# 「心と体を傷つけられて亡くなった 天国の子供たちのメッセージ」展

2018年8月25日（土）～9月1日（土）

会場：東京都人権プラザ ロビーギャラリー  
港区芝2-5-6 芝256スクエアビル1階

開場時間9：30～17：30



©GENTLE HEART PROJECT

## 入場無料

8月25日、9月1日  
トークプログラム  
があります（詳しくは裏面をご覧ください）。

日曜日は休館です。



主催：東京都人権プラザ  
（指定管理者：（公財）東京都人権啓発センター）

協力：特定非営利活動法人  
ジェントルハートプロジェクト

夏休み明けで新学期が始まる9月1日は子供の自殺が多い特異日とされています。文部科学省や各教育委員会、その他様々な団体でも注意喚起を行い、防止に努めています。近年では、神奈川県公共図書館が、twitterを通じて「学校が始まるのが死ぬほどつらい子は、図書館へいらっしやい」と呼びかけたことは、記憶に新しいところです。東京都人権プラザは、多くの児童・生徒が利用する施設であり、こうした状況を踏まえた積極的な働きかけが必要であると考えます。

そこで、命の存在を再認識し、その大切さを訴える展示企画を、NPO法人ジェントルハートプロジェクトの協力を得て開催し、広く呼びかけを行います。来場された方に、この展示を通して、心の傷が孤独感を生み、人を死へと追い詰めてしまう事実があることを実感していただき、心と命について考えていただく機会とします。

### 【展示内容】

心と体を傷つけられ（いじめ等）、亡くなった子供たちの遺影と、子供たちが社会に投げかけた言葉、そして家族から子供へのメッセージを集めたパネルを展示します。

### 【協力団体】

ジェントルハートプロジェクト

いじめ問題の解決を目指して、2003年3月に設立されたNPO法人。全国各地での講演、展示、勉強会等の取組を通して、子供たちが本来持っている「やさしい心」を育むことをめざしている。



©GENTLE HEART PROJECT

### 【トークプログラム】

いじめ等の被害者の家族・関係者によるトーク。

- ① 8月25日（土曜日） 11：00～12：00  
16：00～17：00
- ② 9月1日（土曜日） 14：00～16：00

会場：東京都人権プラザ 1階 セミナールーム  
定員：80名（事前申込不要、当日先着順）  
情報保障（要問合せ）、託児保育（要事前申込）

### 【登壇予定者】（順不同）

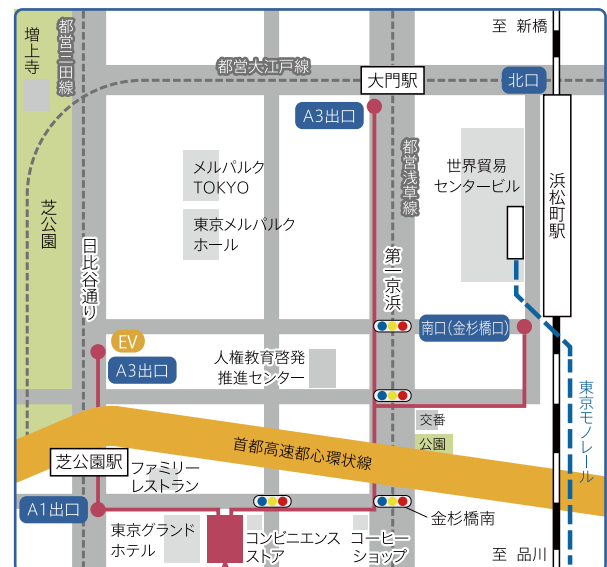
小森美登里さん  
中谷加代子さん  
入江杏さん  
葛西剛さん  
森美加さん  
加藤彰彦さん ほか

### 【会場へのアクセス】

- ・都営三田線「芝公園駅」A1出口から徒歩3分  
※車いす、ベビーカー等ご使用の方は、A3出口エレベータをご利用ください。
- ・都営浅草線・都営大江戸線「大門駅」A3出口から徒歩7分
- ・JR線・東京モノレール「浜松町駅」金杉橋口から徒歩8分

※当館には一般の方用の駐車・駐輪スペースがありません。ご来館の際は公共の交通機関をご利用ください。

※身体障害者の方等公共交通機関の利用が難しい方専用の駐車スペースをご用意していますので、事前にご連絡ください。



東京都人権プラザ

(指定管理者：(公財)東京都人権啓発センター)

# 齋藤陽道写真展

# 感



2019年

1月19日(土)



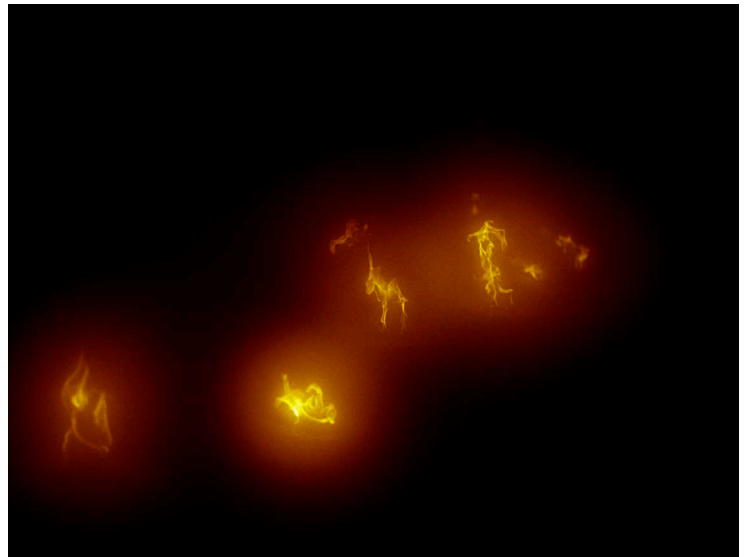
3月30日(土)

会場 = 東京都人権プラザ1階企画展示室

休館日 = 日曜日 時間 = 9:30~17:30 入場無料

主催 = 東京都人権プラザ(指定管理者:公益財団法人東京都人権啓発センター)

# 動



ろう者の写真家・齋藤陽道は、幼少期、補聴器をつけても会話が困難なため、人との関わりを持たずに深い孤独を抱えました。その齋藤を救ったのは、ろう学校で出会った手話と写真でした。本展では、2011年に刊行された写真集『感動』に収められた作品を一堂に展示します。社会的マイノリティとされる人々をはじめ、自身をとりまくさまざまな人や物と向き合い撮影された作品を通して、自分とは異なることを受け止めて、多様な人々と共に生きる世界のあり方を考えてみたいと思います。

**齋藤陽道** (さいとうはるみち)  
1983年、東京都生まれ。写真家。都立石神井ろう学校卒業。2010年、第33回キャンノン写真新世紀優秀賞受賞。2013年、ワタリウム美術館にて大規模個展「宝箱」を開催。2015年、3331ArtsChiyodaで「なにものか」を開催。主な写真集・著作に『感動』『宝箱』『写訳 春と修羅』など。2018年に『声めぐり』『異なり記念日』を同時刊行。

① トーク「手話と写真に生きる者として」  
米内山明宏(俳優、日本ろう者劇団顧問)×齋藤陽道  
2019年1月30日(水)19時~21時

② トーク「ことばの起源へ」  
酒井邦嘉(言語脳科学者、東京大学大学院教授)×齋藤陽道  
2019年2月8日(金)19時~21時

③ トーク「写真集『感動』が顕わにする世界の姿」  
姫野希美(赤々舎・ディレクター)×齋藤陽道  
2019年3月9日(土)14時~16時

④ トーク「詩の生まれるところ」  
& ワークショップ「幻聴妄想かるたー遊ぶ・語る・作る」  
益山弘太郎(詩人)×齋藤陽道  
就労継続支援B型事業所「ハーモニー」の皆さん  
2019年3月23日(土)14時~16時30分  
※ワークショップのみ事前申込・先着順(定員20名)

東京都人権プラザ セミナールーム 定員:80名 参加無料  
申込み不要(当日先着順) 情報保障・託児保育(要問合せ)

会期 2019年1月19日(土)~3月30日(土)  
休館日 日曜日(祝日は開館)  
時間 9:30~17:30  
※1月30日(水)、2月8日(金)は、21:30まで開館  
料金 入場無料

東京都人権プラザ  
〒105-0014 東京都港区芝2-5-6  
芝256スクエアビル1・2F  
TEL 03-6722-0123  
FAX 03-6722-0084  
e-mail tenji@tokyo-jinken.or.jp  
URL <http://www.tokyo-hrp.jp/>

都営三田線「芝公園駅」A1出口から徒歩3分  
(エレベーターはA3出口)  
都営浅草線・都営大江戸線「大門駅」A3出口から徒歩7分  
(エレベーターはA1出口)  
JR線・東京モノレール「浜松町駅」金杉橋口から徒歩8分  
(エレベーターの利用は改札で駅係員にお尋ね下さい)

